

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立蔵前工科高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、生活指導主任、進路指導主任 計3名
- (3) 内部委員の構成
副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、生活指導主任、進路指導主任 計5名
- (4) 協議委員の構成
町会長、民生委員、警察署員、公共職業安定所職員、幼稚園長、同窓顧問 計6名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和5年6月21日（水）集合開催

- (出席者) 外部委員：町会長、民生員、同窓会、警察、幼稚園園長
- 内部委員：副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(内 容)

校長挨拶、委員の自己紹介、学校経営報告及び計画、学運協設置について、学運協報告
各分掌概況報告、意見交換、事務連絡など

第2回 令和5年11月29日（水）集合開催

- (出席者) 外部委員：町会長、民生員、同窓会、警察
- 内部委員：副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(内 容)

校長挨拶、学校の概況報告（経営企画室、教務部、生活指導部、進路指導部）
学校評価アンケートの今後について、意見交換、事務連絡

第3回 令和6年3月7日（木）集合開催

- (出席者) 外部委員：町会長、同窓会、警察、職業安定所
- 内部委員：副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

校長挨拶、本校の現状報告（経営企画室、教務部、生活指導部、進路指導部）、学校
評価アンケート結果について、協議委員による学校評価、事務連絡

- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和5年11月29日（水）集合開催

- (出席者) 外部委員：町会長、民生員、同窓会、警察
- 内部委員：副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(内 容)

学校評価アンケートの基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討等

第2回 令和6年3月7日（木）

- (出席者) 外部委員：町会長、同窓会、警察、職業安定所
- 内部委員：副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(内 容)

学校評価アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価

- (1) 学校評価の観点

学校の意欲、学校への理解、学校の実践等の観点で実施する。

- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模 () は前年度の数値

- ・ 12月 全校生徒 対象：14人 回収：13人 回収率：93% (100%)
- ・ 12月 保護者全員 対象：14人 回収：6人 回収率：43% (41%)
- ・ 12月 教職員 対象：16人 回収：16人 回収率：100% (100%)

- ・ 1月 地域住民 対象：20人 回収：20人 回収率：100% (100%)

- (3) 主な評価項目
学校生活、授業、技術修得、部活動、資格取得、進路指導、ルール・マナー、いじめ・差別、体罰、特別活動、学校行事、感染症対策、オンライン授業、生徒会活動、給食、地域参加、施設・設備、ライフワークバランス、安全教育等
- (4) 評価結果の概要
 - ・生徒、保護者、教職員の9割以上が肯定的であった設問は、「資格取得・各種検定の取組が充実していると思う」で、3年連続で生徒・保護者・教員の全てが、「あてはまる・ややあてはまる」と回答した。一方、生徒、保護者、教員の5割近くが否定的であった設問は、「読書活動がさかんで、図書館の利用者も多いと思う」及び「生徒が地域行事に参加するなど、地域との交流を活発に行っていると思う」（保護者3割台）の2項目であった。
- (5) 評価結果の分析・考察
 - ・3年連続で、読書・図書館利用が課題となっている。週2日の図書館閉館が影響していると思われる。アシスタント職員等を配備し、閉館日が無い様にする必要がある。
 - ・定時制活動時間帯が夜間中心なので地域交流は難しい状況である。地域清掃活動を通して、地域への貢献と関心を高める活動を行った。
 - ・部活動の活性化は、生徒数が少ないことから、難しい状況である。
 - ・学校生活、知識・技能、授業のわかりやすさ、資格取得については、十分な結果が出ている。また、いじめや体罰など生徒と教員の関係も良好である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - ・授業に関する生徒の回答は、「あてはまる」「ややあてはまる」が全体の8割近くであった。
 - ・本年も、学校運営連絡協議会は全て集合開催で行われた。協議委員からは、「学校改善がなされている」と評価された。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
 - ・協議委員の意見では、地域・同窓会からの期待が高く、学校に協力していきたいとの意見も出された。
 - ・避難訓練、安全教育に工夫を加え実施したことについては、一定の評価が得られた。しかし、地域との連携がとれず教育活動の内容が外部に伝わりにくかった。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- (1) 学校運営
 - ・協議委員からの提言、学校評価アンケートから課題を分析し、解決に向け組織的・計画的に取り組む。
 - ・「学校の情報発信」を促進するため、ホームページの充実、蔵工通信の継続、広報活動を強化する。
- (2) 学習指導
 - ・生徒1人1台端末やICT機器の活用、年1回以上のオンライン授業の計画を立てる。
- (3) 特別活動
 - ・部活動加入率の向上、学校行事の活性化により、学校生活の満足度を向上させる。
- (4) 生活指導
 - ・授業規律の確立、SNS 学校ルールの徹底等により、「いじめ」を無くし安全で落ち着いた学習環境を整備する。
- (5) 進路指導
 - ・本校で学んだ建築、設備関係の知識、技能を活かせる進路指導を行う。

6 「学校運営連絡協議会の評価アンケート」において学校が良くなったと回答した人数

- (1) 協議委員の人数 6人
- (2) 回答者数 6人

そう思う	多少そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
4	2					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績

- ・職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加は実施に至らなかった。

8 その他

- ・保護者アンケートの回収については、43%と前年度より2ポイント回復し、保護者の回答内容も「わからない」が減少した。今後の課題として、アンケート回収の率向上及び「わからない」の回答を更に減らす工夫が必要である。
- ・地域アンケートについては、ほぼ全項目で、「わからない」「あまり知らない」「あてはまらない」が5割以上を占めている。授業や学校行事等に地域の要望を取り入れている項目は、「わからない」「あまり知らない」が8割近くであり、地域・学校の交流について更なる検討が必要である。